



回覧の目次

<お知らせ>

1. 札幌市『胃がん・大腸がん・肺がん巡回検診』
のお知らせ（1枚）
2. 街路樹マスの花苗植について（1枚）
3. 中央区社協だより（3枚）

*新型コロナウイルスの影響で中止となる場合がございます。

幌西地区のみなさまへ

札幌市「胃がん・大腸がん・肺がん巡回検診」のお知らせ

職場等で検診を受ける機会がない住民の方を対象に、検診車による「胃がん・大腸がん・肺がん巡回検診」を実施します。ご希望の方は、下表に必要事項を記入してください。肺がん検診のみの場合は申し込み不要です。直接会場へお越しください。なお、「胃がん検診」で内視鏡検査（胃カメラ）を希望される方は、裏面をご覧ください。

なお、中央区民センターでは、「がん検診」と「とくとく健診及び後期高齢者健診」を同時に受診できます（8～3月の第2木曜日の9:30～11:00に開催します。予約はコールセンター ☎222-4894）まで

1 日程・場所

検診実施日		受付時間	実施会場	会場所在地
5月9日	月	9:00～ 10:00	幌西会館	南11条西14丁目
5月23日				
6月13日				

2 持ち物

健康保険証など氏名・年齢・住所が確認できる公的証明書類

3 検診内容（検査料金は当日会場でお支払いください。免除の要件は裏面をご覧ください。）

科目	検査項目	対象年齢（検診当日）	料金
胃がん検診	胃部X線（バリウム検査）	満50歳以上の偶数年齢の方*1	1,100円
大腸がん検診	便潜血検査2日法	満40歳以上の方	400円
肺がん検診	胸部X線 *2	満40歳以上の方	無料

*1 奇数歳であっても、直前の偶数歳時に札幌市胃がん検診を受診しなかった方は受診可能です。

*2 問診結果により喀痰検査を実施（400円）

4 お申し込み

氏名	住所	電話番号	幌西地区		
			町内会	班	希望
			胃	大腸	
記入例) 札幌 太郎	北×条東△丁目●番□号○マンション◎号	XXX-△△△△	5/11		○

次の方は検査料金が免除されます。それぞれの証明となる書類を当日お持ちください。

免除対象者	証明書類
70歳以上の方	健康保険証等の年齢を確認できる公的証明書類
65歳～69歳で後期高齢者医療制度に加入の方（①②のいずれか）	① 後期高齢者医療被保険者証 ② 後期高齢者健診受診券
生活保護世帯の方（①②のいずれか）	① 生活保護受給証明書 ② 生活保護世帯健康診査受診券
市・道民税非課税世帯の方（①②のいずれか）	①市・道民税課税証明書（18歳以上の世帯員全員分が必要、区役所・市税事務所で発行） ②65歳以上で保険料段階が第1、2、3段階の介護保険料納入通知書
中国残留邦人等支援給付世帯の方	本人確認証

【 受診を申し込みされるみなさまへ 】

申し込みをしたにもかかわらず、検診日の1週間前までに問診票等を受け取っていない場合は、町内会ご担当様へご確認ください。

【 「胃がん検診」で内視鏡検査（胃カメラ）を希望される方へ 】

実施医療機関又は北海道対がん協会札幌がん検診センターへお申し込みください。実施医療機関は札幌市公式ホームページでご確認いただくか札幌市コールセンター（電話011-222-4894）へお問い合わせください。

がん検診希望の方は、5月13日（金）までに各町内会の保健部長までお申し込みください。

保健部長 田中寿恵 電話 513-3908

**** 札幌市中央保健センター 電話011-205-3352 ****

町内会の皆さまへ

令和4年4月20日

幌西第3分区町内会
会長 前 肇
保健部長 田中 寿恵

街路樹マスの 花苗植について

美しく住み良い街づくりの一環として、今年も町内の街路樹マスに花の苗を植えます。お時間が許せば、それぞれの班ごとにご協力下さいますようお願い致します。

担当マスの草取り・土おこし・施肥・花の苗植えを行います

👁 **5月21日(土) (雨天の場合翌日)**
9時00分 幌西自転車公園トイレ前に集合

班ごとに、軍手(ゴム手等)、小さいシャベル、ジョウロ、ほうき、スーパーの袋(大)4~5枚をご用意下さい。スーパーの袋は土を起したあとの雑草を所定の場所に運ぶために使います。終了後、参加者全員にジュースを用意します。

中央区 SAPPORO

社協 だより

Vol.92
2022.3

Contents | もくじ

- ▶生活支援コーディネーターだより 2
- ▶福まちかわら版
～コロナ禍における福まち活動～ 3～4
- ▶学校募金の取り組み・
除雪協力員へのお礼 5
- ▶賛助会員報告・寄付のお礼・
事務所移転のお知らせ 6

サロン活動の歩みを止めないために！



令和3年12月16日(木)に中央区サロン交流会を開催し、16名の皆さまにご出席いただきました。

当日は、感染対策を行い、密にならない「レクリエーション体験」と「意見交換」を実施。意見交換はあっという間に時間が過ぎ、話し足りないとお声も。ご参加いただいた皆さま、どうもありがとうございました。



赤い羽根共同募金の助成金を受けて発行しています

生活支援 コーディネーター だより

高齢者の皆さんが住み慣れた地域で暮らし続けられるように、生活支援コーディネーターが中央区内の様々な場所にお邪魔し、たくさんの方とお話をしながら、支え合いの仕組みづくりを一緒に考えています。その一例をご紹介します。

第1包括エリア 東地区

「地域、NPO、学生…みんなでつながる支え合いの場」

地域の小中学生の放課後の居場所として、毎週木曜日に東地区の「北海寺」を会場に「おちゃのま」が開かれています。運営はNPO法人で、学生スタッフたちも活動に携わります。

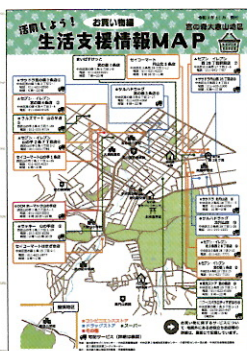
“多世代交流も含め、もっと地域とつながりたい”“イベントだけではなく、お互いに相談し合える場にしていきたい”という想いの実現に向けて、「おちゃのま」メンバーや地域住民、第2層生活支援コーディネーターなど、みんなでの姿について話し合う機会を設けました。コロナ禍ということもあり、初回の話し合いはzoomでの開催となりましたが、直接顔を見ながら意見を交換できる日が来るのを楽しみにしています。



第2包括エリア 宮の森大倉山地区

「生活支援情報MAPを活用して」

地図上に様々なお買い物情報が落としこまれています▶



山間部のためにスーパーからは離れているエリアも多い宮の森大倉山地区。第2層生活支援コーディネーターが中心となり、民児協などの関係機関と協力しながら、配達をしてくれるコンビニやドラッグストアなどの情報をまとめた「生活支援情報MAP～お買い物編～」を作成しました。作ることがゴールではなく、大切なのは「どう活用するか」ということで、令和3年11月に活用方法についての話し合いを行いました。

このマップをコミュニケーションツールとして地区内の高齢者に配布しながら、買い物だけではない生活上の困りごとを把握し、支え合いの仕組みづくりにつなげていくことを目指します。



第3包括エリア 山鼻地区

「地元で根付いた喫茶店から生まれる支え合い」

開店38年目の「Tearoomエンジェル」には、毎日のように訪れるなじみのお客さんが多く、常連客どうしの交流の場にもなっています。第2層生活支援コーディネーターが地域資源調査の一環でお店に通ううちに、オーナーを中心に自然なかたちでお店に集う高齢者の見守りが行われていることが見えてきました。

町内会館がないエリアですが、この喫茶店を地域の交流の拠点、支え合うための居場所として確立していけないかという想いから、常連客と町内会長、関係機関が集まって話し合いの場を設けました。

「このお店があるから安心」という体制づくりを、みんなで模索中です。



▲「エンジェル」の店内で和気あいあいとした話し合いになりました



福祉のまち推進事業は、「住み慣れた家で安心して、ずっと暮らしたい」というみんなの願いをみんなで支える事業です。

近年の社会環境、世帯状況の変化に伴い、地域における人間関係の希薄化が進み、コロナ禍においてさらに社会的孤立が大きな問題となっています。今まで以上に身近な地域での、見守りや支え合い活動が必要になってきています。

そのため、各連合町内会単位に設置されている地区福祉のまち推進センター（以下「地区福まち」）では、住民同士の支え合い活動を広げていくために、さまざまな取り組みを行っています。

東北地区 2月に『福まち相談室』を開設

気軽に集まれる交流の場にしたい!

東北地区は、創成川の東にあり、ランドマークはサッポロファクトリー。都心部まで徒歩圏内という利便性もあり、近年はマンション建設が進み、世帯・人口が札幌で一番増えている地区です。

東北地区福祉のまち推進センターは平成14年に設置され、高齢者のふれあい交流や若い世代・子どもも楽しめる異世代交流等の活動を積み重ねてきました。

令和3年4月、東北地区連合町内会の福祉部長でもある山崎隆氏が、東北地区福祉のまち推進センター事務局長に就任し、福祉推進員を改めて選任する等事務局体制の整備を進めてきました。今年も例年実施している活動の多くが中止になりましたが、高齢者が自粛生活の中でも体力維持ができるよう健康や栄養、介護予防に関することを連町福祉だよりやチラシに盛り込んで配付する等、かたちを変えて活動を継続しています。10月には、介護予防センター等関係機関の協力を得て、体力測定や健康相談を行う『健康教室』を開催。福祉推進員（現在16名）が案内・周知、当日の運営を行いました。「初めて東北地区の行事に参加したという方もいて、予

想を超える多くの参加者で賑わいました。外出機会が少ない今、特に高齢者は健康維持への関心が高いと感じました。次年度は、ウォーキングなども取り入れて実施したいと思っています」と山崎事務局長。



東北地区福祉のまち推進センター
事務局長 山崎 隆氏

また、この2月からは活動拠点である東北会館に『福まち相談室』を開設しました。ここ一年程かけて、他区の福まちセンター活動拠点を視察見学する等、開設に向けての準備を進めてきました。山崎事務局長は「週1回の開設ですが、相談事だけではなく、地域の皆さんに気軽に足を運んでもらい、情報交換や交流の場にしていきたいと考えています」と今後の福まち活動について意欲的に語っておられました。

※福まち相談室は、毎週木曜日の9時～12時まで。電話または直接来館でご相談ください。

場所：東北会館（中央区北2条東2丁目2-1） 電話：251-8288



▲「検温しますね。手の消毒もお願いします。」
参加者の受付をする福祉推進員さん

東北地区
『健康教室』



▲「血圧大丈夫かな?」「次は握力測定ね」～測定会場の様子～